

本資料は個人的な助言ではなく、読者の個人的な目的や個別の状況を考慮していません。本レポート最後の重要なお知らせを参照願います。

## 目次

概観	2
最近のインサイト記事	3
データレビュー	4
予測	5
データとイベントカレンダー	6
この先の5週間	7
重要なお知らせ	8

## Contributors

**David Plank**  
Head of Australian Economics  
+61 481 917 043  
[David.Plank@anz.com](mailto:David.Plank@anz.com)

**Felicity Emmett**  
Senior Economist  
+61 2 8037 0571  
[Felicity.Emmett@anz.com](mailto:Felicity.Emmett@anz.com)

**Catherine Birch**  
Senior Economist  
+61 439 627 968  
[Catherine.Birch@anz.com](mailto:Catherine.Birch@anz.com)

**Adelaide Timbrell**  
Senior Economist  
+61 3 9095 0331  
[Adelaide.Timbrell@anz.com](mailto:Adelaide.Timbrell@anz.com)

**Hayden Dimes**  
Market Economist  
+61 2 8037 0009  
[Hayden.Dimes@anz.com](mailto:Hayden.Dimes@anz.com)

Contact  
[research@anz.com](mailto:research@anz.com)

Follow us on Twitter  
@ANZ\_Research

## オミクロン感染拡大でも量的緩和は2月に終了へ

オミクロン株感染拡大は経済に影響を与えており、ANZが観測している支出は過去数週間急減した。家計の警戒感の高まりを示すものとして、2022年最初のANZロイモーガン消費者信頼感サーベイでは、信頼感が年初に典型的な改善ではなく低下した。

2022年第1四半期の豪州GDP成長率がマイナスに落ち込むほどオミクロン株の影響が大きいかを判断するのは時期尚早だ。正式なロックダウンは実施されていないが、感染した、あるいは感染者の濃厚接触者となった従業員を隔離する必要があると、多くの企業にとって課題となっている。ただしこうした問題は多くの人々が感染から回復するに従って後退するだろう。どの程度早くこれが実現するかは未知数だ。消費者の支出に関する自粛の程度と期間も未知数だ。支出自粛は、終了時の回復が政府による義務的ロックダウンの場合と比べて遅くなるだろうが、家計は自身の財政状況について非常にポジティブであるため、そうはならないかもしれない。

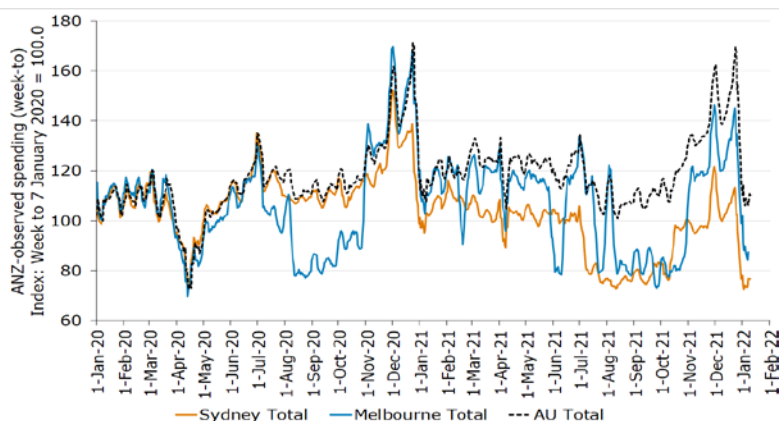
オミクロン株感染は政策決定において2つの喫緊の課題を提示する。一つは、財政政策面での支援は十分かということだ。強制ロックダウンの欠如は、既存の支援プログラム受給に必要な条件が整わないことを意味する。これは、もしオミクロン株感染が短期にとどまるなら大した問題とはならないだろう。しかしもし長引く場合、財政支援の受給要件は見直されるべきかもしれない。

もう一つは、オミクロン感染拡大がRBAの量的緩和(QE)プログラムに関する考え方にどのように影響するかだ。当社は12月に、オミクロン感染拡大の影響が大きくなればRBAは量的緩和を2月に終了すると結論した。オミクロンの影響が大きくなる可能性はあるが、当社は引き続き、RBAが2月に追加債券買い入れを停止すると考えている。この決定に際して鍵となるのは、RBAが週次買い入れ額そのものではなく、債券買い入れのストック(残高)が重要と考えていることだ。このため、債券買い入れ継続は、追加緩和を意味する。経済がRBAの想定より好調な中、オミクロンが著しいリスクとなっているのは事実だが、追加金融緩和が必要とは思われない。バランスシート上の債券残高を追加しないが、償還が到来した債券の再投資については決定を先送りするというのが最も可能性が高いRBAの選択肢だろう。

## 注目材料

**12月雇用統計(1月20日)**：当社は失業率が4.4%へ低下すると予想。

## 今週のチャート：オミクロンの影響で支出が減少



Source: ANZ Research



## 量的緩和は2月に終了へ

デビッド・プランクの見解

- RBAは2月理事会で量的緩和の将来について検討する予定。
- 当社は、RBAの中期経済見通し改善とFedのさらなるタカ派化が量的緩和終了につながるかと考えている。RBAが債券買い入れを追加緩和と考えている事実が、こうした決定に際し鍵を握っている。
- オミクロン株感染拡大による見通しへのリスクを反映し、当社はRBAが量的引き締め(QT)開始如何の決定を数ヶ月間先延ばしすると考えている。

12月16日の講演においてロウRBA総裁は量的緩和終了のタイミングに関する3つの選択肢を提示した：

- 議論された一つ目の選択肢は、5月の終了を前提に、現在の週40億豪ドルからさらに債券買い入れを縮小するというものだ。
- 二つ目の選択肢は、買い入れをさらに縮小し、5月に再度見直しをするというものだ。
- 三つ目の選択肢は、2月に買い入れを終了するというものだ。

これらの選択肢の中から決定する際、理事会は量的緩和開始以降用いてきたのと同じ3つの判断基準を用いる：他中銀の行動、豪州債券市場がどのように機能しているか、そして最も重要なのが、完全雇用および目標と整合的なインフレ率の達成に向けて想定される進展だ。

ロウ総裁は続けて、11月SoMPにおける予測を基にした現在の中心シナリオは、一つ目の選択肢だと述べた。重要なのは、ロウ総裁はその後、経済指標の想定比上振れとRBA予測の上方修正の場合、量的緩和を2月に終了するとしたことだ。

5月の終了を前提に2月半ばから債券買い入れペースを減速させるという一つ目の選択肢は、RBAの11月時点の雇用やインフレの予測と概ね整合的だ。もし理事会の目標に向けた進展が想定より速ければ、2月に債券買い入れを停止するというシナリオの可能性が高まる。

その後公表された11月雇用統計は市場予想比大幅に良好で、雇用者数は36.6万人増加し、労働参加率の大幅上昇にもかかわらず失業率は4.6%へ低下した。当社は今度発表される12月雇用統計は11月ほどではないが大幅な改善を示すと予想しており、雇用者数は8万人増、失業率は4.4%へ低下するだろう。調査の参照期間が感染者数急増前だったため、オミクロン株感染拡大は12月のデータには影響を与えないだろう。また、当社は第4四半期基調インフレ率はRBAの11月時点の予測を上回ると予想している。

想定を上回る経済指標や世界的なインフレ加速がRBAの見通しにとって重要となる。当社は2月SoMPにおいて、オミクロン株感染に影響されたごく直近の計数を除き、GDP、賃金およびインフレ率予測が上方修正されるとみている。

予測の上方修正は2月の量的緩和終了シナリオを支持するだろう。FRBのタカ派化も同様だ。Fedが3月に量的緩和を終了し、FF金利引き上げを開始するような場合だ。

これにもかかわらず、オミクロンが支出に与える影響を考慮すると、それがなかった場合と比べて量的緩和を巡る決定は難しくなるだろう。RBAはリスク回避アプローチを採用し量的緩和を少なくとも5月まで何らかのかたちで継続するか、あるいは予測の上方修正と整合的なかたちで2月に量的緩和を終了するだろうか？

この選択において中心的役割を果たすのは、RBAの量的緩和に関する考え方だ。ロウ総裁はそれを9月の講演で提示した(斜体は筆者による)：

週40億豪ドルペースでの政府債買い入れ継続により、RBAは回復局面で経済への支援を追加することになる。中銀の債券買い入れのストック(残高)見通しの方が、毎週の買い入れ額よりも重要であることを示す証左がある。

このため、RBAが自問しているのは、オミクロン株感染の影響は追加金融緩和の必要性を示しているか、ということだ。



この問いへの回答の起点は、現在の刺激水準は失業率低下や賃金・インフレの加速と明らかに整合的であるという点だ。当社の見解では、これは、量的緩和継続を決定するにはオミクロン株感染拡大が経済に持続的な悪影響を及ぼす具体的なリスクがあると RBA が考える必要があることを意味する。

当社は RBA がそのような結論に達するかは疑わしいと考えている。オミクロン株感染拡大により現時点で外出して買い物することに慎重となっているにもかかわらず家計が自身の財政状況について楽観的なままであることは、検討材料の一つだろう。豪州経済が 2021 年を非常に強いモメンタムで終了したことも同様だ。当社は RBA が結局、オミクロン株は経済に一時的影響しかもたらさないと評価すると考えている。

しかし、RBA は見直しへのリスクは意識しているだろう。一つの選択肢は、2 月に量的緩和を終了するが、保有債券の償還分の再投資をするか否かの決定を数ヶ月間先送りすることだ。RBA は 2022 年 3 月から 4 月にかけて償還が到来するセミ債を 1.40 億豪ドル保有しているが、2022 年 7 月に 20 億豪ドルの豪連邦債の償還が到来するまでは規模が大きい償還はない。このため、RBA はいわゆる量的引き締め (QT) を開始するか、大きな問題を起こすことなく数ヶ月間保留することができる。

RBA のもう一つの選択肢は、5 月まで週次債券買い入れ額を 20 億豪ドルへ削減し、5 月に再検討するというものだ。

当社は、量的緩和を終了するが量的引き締めに関する決定を先送りするというのが RBA の選択になると考えている。

ロウ総裁は 12 月、債券買い入れプログラムの終了は「利上げ開始のタイミングに対するインプリケーションはない」として量的緩和の終了と利上げ開始を区別した。市場はこの 2 つの政策のつながりについて強く反対するだろう。特に、量的緩和終了の理由が経済の中期的な見通しの改善であるためだ。利上げ開始タイミングに関する市場と RBA の意見の相違が続いていることが、実際の利上げ開始までの政策論争における特色となろう。

### 最近のインサイト記事

レポートをダウンロードするにはタイトルをクリックして下さい。

- 1 月 13 日発行、豪第 4 四半期 CPI は総合、コアとも高水準に
- 1 月 12 日発行、豪労働市場：新年の改革
- 1 月 7 日発行、ANZ 豪州データ：デルタ株感染以後で最悪
- 1 月 5 日発行、ANZ 豪州データ：外食への恐怖
- 1 月 4 日発行、ANZ 豪州データ：支出データ総まとめ
- 12 月 20 日発行、ANZ 豪州データ：オミクロンにもかかわらず買い物と旅行は堅調
- 12 月 16 日発行、豪州：財政政策は引き続き拡張的
- 12 月 16 日発行、2021 年 12 月 ANZ 不動産評議会サーベイ：センチメントが持ち直し
- 12 月 14 日発行、ANZ リサーチ四半期報：どれだけ速く、どれだけ高く、どれだけ脆弱か

毎週、当社チーフエコノミストの リチャード・イエッツェンガ が前週の ANZ グローバルリサーチの中からテーマと洞察をまとめた The Shortlist をご提供しております。登録をご希望の方は当社まで E メールをお送り下さい。





### 12月雇用統計



Source: ABS, Macrobond, ANZ Research

### 1月20日木曜

	ANZ 予想	市場予想	前回
雇用者数、千人	+80	+70	+366
失業率、%	4.4	4.5	4.6

調査参照期間が11月28日から12月11日までと、感染症例急増前であったため、オミクロン株の影響は12月統計には表れないだろう。

11月の前月比36.6万人増という記録的雇用増と失業率の0.6%ポイント低下の後、当社は鈍化するものの大幅な改善を予想している：雇用者数は8.0万人増、失業率は4.4%へ低下しよう。

Catherine Birch



豪州經濟活動\*

	% q/q						% y/y			
	Sep-21	Dec-21	Mar-22	Jun-22	Sep-22	Dec-22	2020	2021	2022	2023
GDP	-1.9	<b>2.4</b>	<b>2.1</b>	<b>1.6</b>	<b>1.2</b>	<b>0.8</b>	-0.8	<b>3.0</b>	<b>5.8</b>	<b>2.6</b>
Employment growth	-0.6	<b>-0.2</b>	<b>2.2</b>	<b>1.1</b>	<b>0.7</b>	<b>0.6</b>	-1.0	<b>1.4</b>	<b>4.7</b>	<b>2.4</b>
Unemployment rate	4.6	<b>5.1</b>	<b>4.6</b>	<b>4.4</b>	<b>4.1</b>	<b>4.0</b>	6.8	<b>5.1</b>	<b>4.0</b>	<b>3.8</b>
Wage price index	0.6	<b>0.7</b>	<b>0.7</b>	<b>0.8</b>	<b>0.8</b>	<b>0.8</b>	1.4	<b>2.3</b>	<b>3.1</b>	<b>3.3</b>
Headline inflation	0.8	<b>0.9</b>	<b>0.7</b>	<b>0.6</b>	<b>0.6</b>	<b>0.7</b>	0.9	<b>3.0</b>	<b>2.6</b>	<b>2.8</b>
Trimmed mean inflation	0.7	<b>0.8</b>	<b>0.6</b>	<b>0.5</b>	<b>0.6</b>	<b>0.7</b>	1.1	<b>2.4</b>	<b>2.4</b>	<b>2.7</b>

\*Forecasts in bold. Annual data and forecasts are through-the-year growth, except the unemployment rate which is the Q4 average.

金融市場

	Current	Mar 22	Jun 22	Sep 22	Dec 22
<b>Interest Rates (%)</b>					
RBA cash rate	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
90-day bank bill	0.07	0.11	0.14	0.17	0.17
3-year bond	1.18	1.00	1.25	1.25	1.50
10-year bond	1.86	1.85	1.85	1.85	2.00
Curve - 3s10s (bps)	69	85	60	60	50
3y swap	1.38	1.15	1.40	1.40	1.65
10y swap	2.09	2.15	2.15	2.15	2.30
RBNZ cash rate	0.75	1.00	1.50	2.00	2.00
US fed funds	0.25	0.50	1.00	1.25	1.50
US 2-year note	0.89	0.75	0.75	1.00	1.25
US 10-year note	1.69	1.50	1.75	1.75	2.00
ECB refi rate	-0.50	-0.50	-0.50	-0.50	-0.50
BoE Bank Rate	0.25	0.50	0.50	0.50	0.50
<b>Foreign Exchange</b>					
AUD/USD	0.73	0.75	0.75	0.75	0.75
AUD/EUR	0.64	0.66	0.66	0.66	0.65
AUD/GBP	0.53	0.56	0.56	0.55	0.55
AUD/JPY	83.1	87.0	87.0	87.0	87.0
AUD/CNY	4.63	4.78	4.76	4.74	4.73
AUD/NZD	1.06	1.04	1.04	1.04	1.04
AUD/CHF	0.66	0.70	0.70	0.71	0.70
AUD/IDR	10441	10631	10613	10575	10500
AUD/INR	54.00	55.88	56.10	56.25	56.40
AUD/KRW	865	881	878	870	863
USD/JPY	114	116	116	116	116
EUR/USD	1.15	1.13	1.13	1.14	1.15
USD/CNY	6.36	6.37	6.35	6.32	6.30
AUD TWI	61.20	63.00	62.92	62.71	62.49

Bond yields are on government-issued securities at constant maturity.

Forecasts are for quarter-end.



## データとイベントカレンダー

DATE	REGION	DATA/EVENT	PERIOD	MARKET	ANZ	LAST	GMT	AEST
Monday	JN	Core Machine Orders m/m	Nov	--	--	3.8%	23:50	10:50
17-Jan		Core Machine Orders y/y	Nov	--	--	2.9%	23:50	10:50
	CH	<b>GDP y/y</b>	<b>Q4</b>	<b>3.6%</b>	<b>--</b>	<b>4.9%</b>	<b>02:00</b>	<b>13:00</b>
		GDP YTD y/y	Q4	8.0%	--	9.8%	02:00	13:00
		<b>Industrial Production y/y</b>	<b>Dec</b>	<b>3.8%</b>	<b>--</b>	<b>3.8%</b>	<b>02:00</b>	<b>13:00</b>
		<b>Retail Sales y/y</b>	<b>Dec</b>	<b>3.8%</b>	<b>--</b>	<b>3.9%</b>	<b>02:00</b>	<b>13:00</b>
	CA	Existing Home Sales m/m	Dec	--	--	0.6%	14:00	01:00
Tuesday	AU	ANZ Roy Morgan Weekly Consumer Confidence Index	Jan-22	--	--	106	22:30	09:30
18-Jan	JN	Industrial Production y/y	Nov F	--	--	5.4%	04:30	15:30
	EA	ZEW Survey Expectations	Jan	--	--	26.8	10:00	21:00
	GE	ZEW Survey Current Situation	Jan	--	--	-7.4	10:00	21:00
		ZEW Survey Expectations	Jan	--	--	29.9	10:00	21:00
	UK	Employment Change 3M/3M	Nov	--	--	149k	07:00	18:00
		ILO Unemployment Rate 3Mths	Nov	--	--	4.2%	07:00	18:00
	US	Empire Manufacturing	Jan	26	--	31.9	13:30	00:30
		NAHB Housing Market Index	Jan	84	--	84	15:00	02:00
	CA	Housing Starts	Dec	--	--	301.3k	13:15	00:15
Wednesday	GE	CPI y/y	Dec F	--	--	5.3%	07:00	18:00
19-Jan	UK	CPI y/y	Dec	--	--	5.1%	07:00	18:00
		PPI Inputnsa y/y	Dec	--	--	14.3%	07:00	18:00
		PPI Outputnsa y/y	Dec	--	--	9.1%	07:00	18:00
	US	MBA Mortgage Applications	Jan-22	--	--	1.4%	12:00	23:00
		Building Permits	Dec	1710k	--	1717k	13:30	00:30
		Housing Starts	Dec	1655k	--	1679k	13:30	00:30
	CA	Consumer Price Index	Dec	--	--	144.2	13:30	00:30
		CPI y/y	Dec	--	--	4.7%	13:30	00:30
Thursday	NZ	ANZ Truckometer Heavy m/m	Dec	--	--	4.6%	21:00	08:00
20-Jan	AU	<b>Employment Change</b>	<b>Dec</b>	<b>--</b>	<b>80k</b>	<b>366.1k</b>	<b>00:30</b>	<b>11:30</b>
		<b>Participation Rate</b>	<b>Dec</b>	<b>--</b>	<b>--</b>	<b>66.1%</b>	<b>00:30</b>	<b>11:30</b>
		<b>Unemployment Rate</b>	<b>Dec</b>	<b>--</b>	<b>4.4%</b>	<b>4.6%</b>	<b>00:30</b>	<b>11:30</b>
	JN	Trade Balance	Dec	--	--	-¥955.6b	23:50	10:50
	EA	CPI y/y	Dec F	--	--	4.9%	10:00	21:00
		<b>ECB Publishes Account of December 2021 Policy Meeting</b>					<b>12:30</b>	<b>23:30</b>
	GE	PPI m/m	Dec	--	--	0.8%	07:00	18:00
	US	Continuing Claims	Jan-22	--	--	--	13:30	00:30
		Initial Jobless Claims	Jan-22	--	--	--	13:30	00:30
		<b>Philadelphia Fed Business Outlook</b>	<b>Jan</b>	<b>21</b>	<b>--</b>	<b>15.4</b>	<b>13:30</b>	<b>00:30</b>
		Existing Home Sales	Dec	6.43m	--	6.46m	15:00	02:00
Friday	NZ	BusinessNZ Manufacturing PMI	Dec	--	--	50.6	21:30	08:30
21-Jan	JN	Natl CPI y/y	Dec	--	--	0.6%	23:30	10:30
		<b>BOJ Minutes of Dec. Meeting</b>					<b>23:50</b>	<b>10:50</b>
	UK	Retail Sales Ex Auto Fuel m/m	Dec	--	--	1.1%	07:00	18:00
		<b>BOE's Catherine Mann speaks on economy and monetary policy</b>					<b>13:00</b>	<b>00:00</b>
	US	Leading Index	Dec	0.8%	--	1.1%	15:00	02:00
	CA	Retail Sales Ex Auto m/m	Nov	--	--	1.3%	13:30	00:30



## この先の 5 週間

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
<b>17 Jan</b> JN: Machine order (Nov) CH: IP (Dec), GDP (4Q), Retail sales (Dec)  <b>Public Holiday: US</b>	<b>18 Jan</b> JN: IP (Nov F) UK: Unemp rate (Nov) GE: ZEW survey (Jan) US: Empire Manf. (Jan) CA: Housing starts (Dec)	<b>19 Jan</b> UK: CPI (Dec) GE: CPI (Dec F) US: Build permits (Dec), Housing starts (Dec) CA: CPI (Dec)	<b>20 Jan</b> AU: Unemp. rate (Dec) JN: Trade bal (Dec) EA: CPI (Dec F) US: Philadelphia Fed (Jan), Exist. Home sales (Dec)	<b>21 Jan</b> NZ: PMI (Dec) JN: CPI (Dec) UK: Retail sales (Dec) CA: Retail sales (Nov)
<b>24 Jan</b> AU: PMI (Jan P) JN: PMI (Jan P) UK: PMI (Jan P) GE: PMI (Jan P) EA: PMI (Jan P) US: PMI (Jan P)  <b>Public Holiday: NZ</b>	<b>25 Jan</b> AU: CPI (4Q), NAB Bus. cond. (Dec) GE: IFO (Jan) US: Cons. Conf. (Jan), Richmond Fed (Jan)	<b>26 Jan</b> NZ: Trade bal. (Dec) US: Wholesale inv. (Dec P), New home sales (Dec), FOMC rate CA: BoC rate decision  <b>Public Holiday: AU</b>	<b>27 Jan</b> NZ: CPI (4Q) CH: Ind. Profits (Dec) GE: GDP (4Q P) US: Durable goods (Dec P), GDP (4Q A)	<b>28 Jan</b> AU: PPI (4Q) JN: CPI (Jan) EA: M3 money (Dec) US: ECI (4Q), PCE deflator (Dec), U. of Mich. sent. (Jan F)
<b>31 Jan</b> JN: IP (Dec P), Retail sales (Dec) CH: PMI (Jan) GE: CPI (Jan P) EA: GDP (4Q A) US: PMI (Jan), Dallas Fed (Jan)  <b>Public Holiday: NZ,CH</b>	<b>1 Feb</b> AU: Retail sales (Dec), RBA cash rate JN: PMI (Jan F) UK: PMI (Jan F) EA: Unemp. rate (Dec) US: PMI (Jan F), Construct. Spend (Dec) ISM (Jan), CA: GDP (Nov)  <b>Public Holiday: CH</b>	<b>2 Feb</b> NZ: Unemp. rate (4Q) GE: Unemp rate (Jan), PMI (Jan F) US: ADP emp. (Jan) CA: Build permits (Dec)  <b>Public Holiday: CH</b>	<b>3 Feb</b> AU: Build. approv (Dec), Trade bal. (Dec), NAB bus. conf. (4Q) UK: BoE bank rate US: Factory order (Dec) Durable goods (Dec F)  <b>Public Holiday: CH</b>	<b>4 Feb</b> NZ: Build. permit (Dec) GE: Factory order (Dec) US: Nonfarm payroll (Jan), Unemp. rate (Jan) CA: Unemp rate (Jan)  <b>Public Holiday: CH</b>
<b>7 Feb</b> AU: ANZ Job Ads (Jan) GE: IP (Dec)  <b>Public Holiday: NZ</b>	<b>8 Feb</b> AU: NAB bus conf (Jan) US: NFIB (Jan), Trade bal. (Dec)	<b>9 Feb</b> US: Wholesale inv. (Dec F)	<b>10 Feb</b> JN: PPI (Jan) US: CPI (Jan)	<b>11 Feb</b> NZ: PMI (Jan) UK: GDP (4Q P), IP (Dec) GE: CPI (Jan F) US: U. of Mich. sent. (Feb P)  <b>Public Holiday: JN</b>
<b>14 Feb</b>	<b>15 Feb</b> JN: GDP (4Q P), IP (Dec F) UK: Unemp rate (Dec) GE: ZEW survey (Feb) EA: GDP (4Q P) US: Empire manf. (Feb), PPI (Jan) CA: Housing starts (Jan)	<b>16 Feb</b> CH: CPI, PPI (Jan) UK: CPI (Jan) US: Retail sales (Jan), IP (Jan), FOMC minutes (Jan 26) CA: CPI (Jan)	<b>17 Feb</b> AU: Unemp. rate (Jan) JN: Trade bal. (Jan), Machine orders (Dec) US: House start (Jan), Build. permits (Jan), Philadelphia Fed (Feb)	<b>18 Feb</b> JN: CPI (Jan) UK: Retail sales (Jan) US: Exist. Home sales (Jan) CA: Retail sales (Dec)



## 重要なお知らせ

本文書は、ANZ の法人部門およびマーケティング部門の顧客を対象としたものです。本文書を、転送、複製または配布することはできません。本文書に含まれるリサーチ及び意見は一般的な性質のものであり、個人的な金融商品に関する助言を構成せず、お客様の目的、財務状態またはニーズを考慮するものでもありません。

本文書は、特定の法域において法律により制限を受ける場合があります。本文書を受領したお客様は、すべての関連する制限について理解し、遵守する必要があります。

本文書は、オーストラリア・ニュージーランド銀行 (ABN 11 005 357 522) (以下、「ANZBGL」といいます。) により準備され、ANZBGL の東京支店または ANZBGL の子会社である ANZ 証券株式会社 (以下、ANZBGL と総称して「ANZ」といいます。) により配布されるものです。ANZ 証券株式会社は、日本の金融庁により規制される金融商品取引業者であり (登録番号: 関東財務局長 (金商) 第 3055 号)、日本証券業協会に加入しています (〒100-6333 東京都千代田区丸の内 2 丁目 4-1 丸の内ビルディング 31 階)。本文書は、特定の受領者または関連するウェブサイトの許可されたユーザー (総称して、「受領者」といいます。) に対して、情報提供のみを目的として配布されるものです。

本文書は日本語参考訳であり、英語原文との間に齟齬がある場合には、原文の内容が優先します。本文書は情報提供のみを目的として配布されるものであり、本文書のいかなる記述も、商品またはサービスの売却、購入、受領もしくは提供または特定の取引戦略への参加に対する ANZ による招待、勧誘または提案を意図するものではありません。

本文書は、お客様の法域の法律により認められる場合にのみお客様に対して配布されるものであり、本文書の使用または配布が法令に反する法域、または ANZ が追加的な認可の取得もしくは登録を行うことが必要となる法域に居住または所在する受領者に対して配布されまたは使用されることを目的としたものではなく、または意図されたものでもありません。さらに、本文書に記載の商品およびサービスは、すべての国において入手可能ではない場合があります。

ANZ は、本文書に記載された商品またはサービスについて、お客様に財務、法務、税務または投資の助言を行うものではありません。投資判断を行う前に、本文書を受領者は、ご自身の状況に応じて、独立した財務、法務、税務その他関連する助言を取得してください。

ANZ は、本文書の作成にあたって一定の配慮を行っており、本文書に含まれる情報は正確であると考えていますが、情報の正確性または完全性に関し、表明または保証を行いません。さらに、ANZ は、本文書に記載された情報の正確性に影響を与える恐れのある事項を後に知った場合でも、かかる事項をお客様に通知する責任を一切負いません。

本文書の作成にあたって本文書で述べられている意見は、重要な部分において主観的な判断や分析を含む場合があります。特段の記載のない限り、これらの意見は、本文書の作成日時点のものであり、予告なく変更されるものです。また、全ての価格情報は、一例を示しているにすぎません。本文書で述べられている意見は、いつでも予告なく変更されることがあります。

ANZ は、本文書に記載される商品の実績を保証するものではありません。あらゆる投資には危険が伴い、収益が生じる場合もあれば損失を生じる場合もあります。過去の実績は、将来の実績の指標となるものではありません。本文書に記載の商品やサービスが、必ずしも全ての投資家に適しているものとはいえない場合があります。これらの商品やサービスに関する取引が危険であると考えられる場合があります。

ANZ は、関連する法律により認められる限りにおいて、あらゆる責任を明示的に免除し、本文書に起因もしくは関連して、直接的または間接的に、また不法行為 (過失を含みます。) 、契約、衡平法により、またはその他により生じるあらゆる損失、損害、請求、負担、訴訟手続き、支出または諸費用 (以下、「負担」といいます。) について責任を負いません。本文書は、いかなる法域の規制機関または規制当局によっても審査されたものではないことにご留意ください。

ANZ および ANZ の関係当事者は、本文書で言及されている対象について利害関係を有している場合があります。ANZ および ANZ の関係当事者は、本文書に記載の商品またはサービスを取引するために顧客から手数料を受領する場合があります。またそれらの社員および取引の紹介者は、当該手数料の分配または総売上高に応じた報酬を受領する場合があります。これらは常に現地の規制に基づいて受領され、または分配されます。ANZ および ANZ の関係当事者またはその顧客はさらに、本文書に記載の商品またはサービスについて、利害関係を有しまたは買い持ちもしくは売り持ちポジションを取ります。また、随時、本人または代理人としてこれらの購入および/または販売を行う場合があります。これらの商品のマーケットメーカーを務め、または務めていた場合があります。本文書は、ANZ の利益相反に関するポリシーに従って公表され、ANZ は、ANZ および ANZ の関係当事者内において情報が他の営業部門へ流出することを防ぐため、適切な情報隔壁を設定・維持しています。

上記の開示に関する詳細をご希望の場合を含め、本文書に関するご質問は、お客様の ANZ 担当者にご連絡ください。